

## 新デ デジタルサイネージ設置事業

35,190千円

- ▶ 施設の情報と合わせて、市の観光情報や災害情報も発信できるデジタルサイネージを設置します。

設置場所	内容	予算額 (千円)
久留米シティプラザ	モニター更新6台 モニター新設2台	25,120
観光案内所(JR,西鉄)	モニター新設2台	【再掲】3,900
道の駅くるめ	モニター新設1台	2,282
えーるピア久留米	モニター更新1台	1,730
大型商業施設	モニター新設1台	2,158

### デジタルサイネージとは

看板などの通常のサイネージの役割を液晶ディスプレイなどのデジタル機器で置き換え、情報発信や広告など、デジタルならではの発信ができる電子看板のこと。



シティプラザ設置デジタルサイネージ

## 新デ SNS等発信コンテンツの充実

5,106千円

- ▶ 魅力ある映像・写真等を活用して効果的なSNS発信に取り組みます。

## デ DX推進事業

804,198千円

- ▶ 「行かなくていい市役所」づくりなど、市民の利便性向上や行政事務の効率化を図るため、新たなデジタル技術の導入等を進めます。

### 新防 公開型GISの構築

21,120千円

市の地図情報をWeb上で公開し、事業者の業務の効率化や、防災・災害情報の共有を図るシステムを構築します。

### 新 電子契約の導入

528千円

事業者の皆さんの利便性向上のため、システム上での契約を可能とする電子契約を導入します。

### 新 文書生成AIの導入

2,420千円

生成AIを要約文の作成やアイデア出し等に活用し、市役所の業務効率化を図ります。

### ○ 情報システムの標準化・クラウド化へ向けた移行準備

国が推進する標準準拠システムの導入やガバメントクラウドへの移行に取り組みます。 779,301千円

## デ その他デジタル関連予算

29,344千円

▶その他にも様々なデジタル関連の取組を進めます。

**拡 公共施設予約システムの運用** 5,676千円

Web上で公共施設の空き情報の確認・予約ができる施設数を増やします。

**○ AIチャットボットの運用** 792千円

市民の皆さんの質問に、いつでも回答できるAIチャットボットを運用します。

**○ RPA、AI-OCR活用** 18,680千円

定型業務などの行政事務の効率化を図り、行政サービスの更なる向上に繋がります。

**○ テレワーク、Web会議の活用** 4,196千円

遠隔地からの業務の実施や会議に参加するなど、効率的に行政事務を進めます。



## 物価高騰対策関連

# 399,299千円

▶ 長引く物価高騰の状況から市民生活を守る取組みを行います。

### ○ 給食支援事業[再掲] 273,116千円

食材等の物価が高騰する中、子ども達の成長に相応しい給食を提供するために給食費の一部を支援します。

- ・保育所等 : 89,784千円
- ・小学校 : 92,048千円
- ・中学校 : 88,000千円
- ・特別支援学校 : 3,284千円



### ○ プレミアム商品券発行事業[再掲] 126,183千円

県と連携し、商工団体が行う商品券発行に補助を行います。

## 災害復旧対応関連事業

88,605千円

▶ 令和5年7月の大雨災害からの復旧に引き続き取り組みます。

**新** **そよ風ホール災害復旧工事に係る調査検討業務** 22,000千円

浸水被害を受けたそよ風ホールについて、復旧計画や設計のための仕様を作成し、効果的な復旧方法について検討を行います。

○ **衛生施設災害復旧事業** 40,594千円

被災した杉谷埋立地法面のアンカー工事を行います。

○ **農業施設災害復旧事業** 26,011千円

災害で発生した土砂等の仮置場として、借地の維持管理を行います。

令和6年度予算とあわせて、令和5年度予算のうち、工期等の関係で令和6年度に事業の繰越を設定している予算額が約42億円となっています。引き続き災害復旧にしっかりと取り組んでいきます。

